

2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	学校教育課程	履修者数	1,368
		回答者数	908

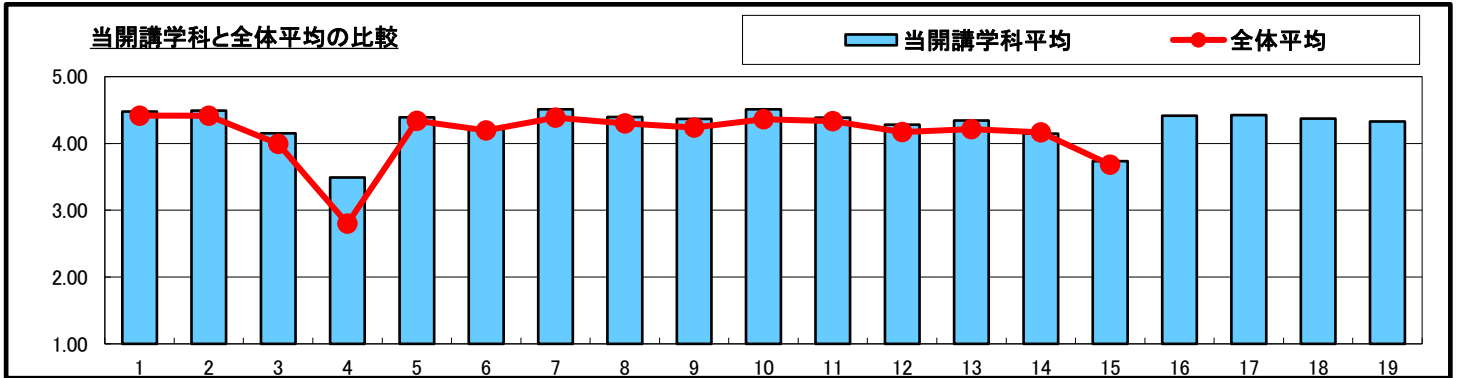
学年 マーク	回答者数／構成比（％）				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	278 30.6	272 30.0	245 27.0	113 12.4	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比（％）					有効 回答	無効 回答	
			5	4	3	2	1			
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
▼全学部共通の質問項目										
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.48	525	320	42	12	8	907	1	
			57.9	35.3	4.6	1.3	0.9			
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.49	529	312	53	7	6	907	1	
			58.3	34.4	5.8	0.8	0.7			
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.15	373	358	126	41	9	907	1	
			41.1	39.5	13.9	4.5	1.0			

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.49	2時間以上 215 23.7	1時間以上 2時間未満 257 28.4	30分以上 1時間未満 239 26.4	30分未満 146 16.1	全くして いない 49 5.4	906	2
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.39	462 51.2	347 38.5	83 9.2	6 0.7	4 0.4	902	6
6	この科目の難易度は適切であった	4.22	400 44.1	364 40.1	93 10.3	42 4.6	8 0.9	907	1
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.51	549 60.7	293 32.4	46 5.1	11 1.2	6 0.7	905	3
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.40	488 53.9	320 35.4	75 8.3	12 1.3	10 1.1	905	3
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.37	511 56.6	275 30.5	72 8.0	28 3.1	17 1.9	903	5

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.51	563 62.1	270 29.8	53 5.8	17 1.9	4 0.4	907	1
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.39	506 56.0	285 31.5	79 8.7	24 2.7	10 1.1	904	4
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.28	474 52.5	280 31.0	95 10.5	38 4.2	16 1.8	903	5
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.34	465 51.2	333 36.7	76 8.4	24 2.6	10 1.1	908	0
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.15	412 45.5	291 32.2	143 15.8	42 4.6	17 1.9	905	3
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.73	十分に 読んだ 248 27.4	よく読んだ 327 36.1	どちらとも いえない 201 22.2	ほとんど 読まなかった 100 11.0	全く読んで いない 29 3.2	905	3

▼学科設問									
16	この授業の学修を通して、関連の資格・免許状にかかわる資質・能力を高めることができた	4.42	486 53.6	341 37.6	58 6.4	13 1.4	8 0.9	906	2
17	この授業の学修を通して、教育に必要な実践や取組への理解を深めることができた	4.42	478 52.8	352 38.9	63 7.0	7 0.8	6 0.7	906	2
18	この授業の学修を通して、教育に関わる理論や研究への関心を高めることができた	4.37	457 50.4	362 40.0	63 7.0	15 1.7	9 1.0	906	2
19	この授業の学修を通して、教育に関わる技術やノウハウを身に付けることができた	4.33	446 49.2	360 39.7	63 7.0	25 2.8	12 1.3	906	2



2024 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	学校教育課程
講評者	課程長 濱川栄

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	いずれも大学全体の平均より高い数値が出ているが、とびぬけて高いというほどではない。良好な学習環境の確保に向けてさらに改善していきたい。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	いずれの項目とも大学全体の平均を上回っている。特に 4 の授業時間外学修にかけた時間のポイントが大学全体平均 2.80 に対し、本課程は 3.49 であり 0.69 ポイント上回っているのは、本課程の学生が比較的予習・復習に時間をかけていることの表れと見なし得る。今後とも向学心を保って学修に励んで欲しい。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	項目 14「必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた」のみ大学全体の平均よりわずかに低い値が出た。しかしこれは教員の側から見て受講態度の良くない学生が少ないために注意をせずに済んだ、とも受け取れる。ただし学生の側が注意を求めているにも関わらずそれを放置したためにこうした数値が出た、とも考えられるので、数値自体の良し悪しの判断は難しい。必要な注意喚起は怠りなく行うように教員も心掛ける必要はあると思われる。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	いずれも 4.3 ポイント以上の高い数値が出ており、本課程の多くの授業が教職を目指す学生のニーズに応える内容であることの表れであろうと考えられる。これに満足することなく、「より高きを目指して」授業改善に励んでいきたい。